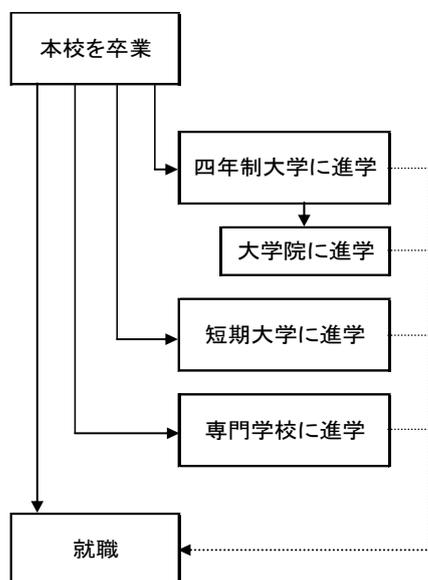


1 将来の目標

よりよい進路選択をするためには、進路目標を早めに定めなければなりません。本校卒業後の進路を簡単に図式化すると、下記ようになります。



2 本校での取り組み

目標を達成するためには、1・2年の基礎学力が大切です。『シラバス』に書かれている教科の学習方法をよく読んで、しっかり取り組んで下さい。「専門学校だから」、「就職だから」といって、1・2年の学習をおろそかにしないで下さい。どのような進路に進むにしろ、高校生としての「基礎学力」が必要です。進路指導課では学習面の他に、進路の方針を立てるための手助けとして、次のような取り組みをしています。

(1) 進路ガイダンス

1年生、2年生の総合的学習の時間を利用して、進路に関するガイダンスを実施しております。主な内容は、学習の心構え、スタディーサポート、学部学科調べ、大学調べ、職業インタビュー、大学出前授業などです。また、夏休みを利用して、積極的に大学等のオープンキャンパスに参加するよう、指導しています。

(2) 進学講演会(説明会)

全学年を対象に外部講師を招き、それぞれ講演会を実施しています。進学に関する最新情報を伝えるだけでなく、学習の心構えについてもしっかり考えてもらいます。また、保護者の皆さんに対しては、学年ごとに説明会を実施しています。

(3) 進路情報の提供

近年、入試制度は多様化し複雑化してきています。進路指導室や学習室、図書室の進路コーナーには大学・短大・専門学校等の資料が揃っていますので、是非利用して下さい。

3 四年制大学について

四年制大学は、国公立大学と私立大学に分かれています。入試制度は次のようになっています。

(1) 国公立大学

① 一般選抜

「大学入学共通テスト」と「個別学力試験」を受けることが必要です。

「大学入学共通テスト」は3年生の1月中旬に実施されます。「個別学力試験」は、前期試験は2月下旬、中期試験・後期試験は3月中旬に行われ、出願できる大学は、この前期・中期と後期の3校に限られます。合否は「大学入学共通テスト」と「個別学力試験」を総合して決定されますが、出願する大学を決める際に、最初に行われる「大学入学共通テスト」の結果は、大変重要になります。この「大学入学共通テスト」は、大半が1・2年生で学習した内容から出題されます。早い段階からの準備が必要です。日頃の学習にしっかり取り組んで下さい。

② 学校推薦型選抜

国公立大学が実施するのは、基本的に「公募制推薦入試」と言われるものです。推薦基準(本校の基準と各大学の基準)を満たせば誰でも出願できますが、各高校から出願できる人数に制限がある場合があります。推薦を希望する際には、学業成績が優れているだけでなく、日頃の出欠状況や生活態度が良好でなければなりません。なお、中には「大学入学共通テスト」を利用する場合もありますので、各大学の募集要項をよく調べて下さい。

③ 総合型選抜

学力だけでなく特技や資格、学習意欲など、受験生の人物を総合的に判断する入試のこと。私立大学でも同様の入試制度があります。

(2) 私立大学

① 一般選抜

複線型入試と言われる入試形態をとる大学が多く、入試方法は複雑です。各大学の募集要項をしっかりと確認する必要があります。また、約9割の大学が「大学入学共通テスト」を利用する試験を実施しています。

② 学校推薦型選抜

「公募制推薦」と「指定校制推薦」とがあります。

「公募制推薦」は、国公立大学の場合と同様で、推薦基準を満たせば誰でも出願できます。

「指定校制推薦」は、大学がある高校を指定し、その高校から生徒を推薦してもらう制度です。校内選考で推薦されることが大切になります。

4 短期大学について

一般入試と推薦入試とがありますが、本校の場合では推薦入試による出願を原則として認めていませんので注意して下さい。また、四年制大学と同様に「大学入学共通テスト」を利用した受験も可能です。

5 専門学校について

専門学校とは高等学校卒業者を対象とする専門課程を設置している専修学校のことです。専門学校では職業に直結した学科が設置され、種々の資格も取得しなければなりません。目的意識をしっかり持って選択して下さい。なお、本校では短大と同様に推薦入試の出願を認めていません。

6 就職について

就職は、一般企業への就職と公務員への就職の2つに分けられます。

(1) 一般企業への就職の場合

一般企業への就職試験では、学科試験・作文・面接・適性検査などがありますが、特に、面接（人物）を重視しています。常日頃から身だしなみや出欠状況に注意して面接試験に備えてください。欠席・遅刻数が少ないことは真面目さのバロメーターとなりますので安易に欠席しないよう注意してください。

また、学科試験では、普段の授業で習うことを理解し学力をつけて受験することが必要です。そのためには予習・復習および定期試験・進学用模擬試験の勉強も大切にしてください。

3年生になって一般企業への就職を希望する場合の手続きについて説明します。

- ① 一般企業への就職希望者説明会・・・4月下旬
- ② 一般企業への就職希望者登録・・・6月中旬
- ③ 面接（進路指導課）・・・7月中旬まで
→ この際に、希望就職や職種・勤務希望地などを確認します
- ④ 就職ガイダンス・・・7月中旬
求人票の見方・履歴書の書き方の指導、今後の日程等の確認を行います。
- ⑤ 「一般企業への就職斡旋願い」の提出・・・8月上旬
学校へ送付された求人票の中で、自分が希望する一般企業を選び、適性或志望職種を保護者、担任とよく相談

した上で「一般企業への就職斡旋願い」を提出します。提出後の変更は認められません。

- ⑥ 「履歴書」の提出・・・8月下旬
校内の推薦会議で希望する一般企業への出願・受験が認められた後に履歴書を提出します。
- ⑦ 一般企業の就職試験開始・・・9月中旬
→ 一般企業は学校推薦の形で出願するため、一般企業の就職試験は一社しか受験出来ません。
(公務員・大学・短大・専門学校も受験出来ません。)

(2) 公務員への就職について

公務員は、国家公務員・地方公務員の2つに分けられます。国家公務員は、国家Ⅲ種（行政事務員、税務官など）・裁判所職員・自衛官などがあります。

地方公務員は、石川県職員（石川県庁職員、高等学校事務職員、石川動物園職員、石川県立図書館職員など）・石川県警察官・市町職員・消防官などがあります。

公務員試験は毎年倍率が高いため、各職種の試験内容を調べて、早めに取り組むことが望まれます。学力検査は主として1～3年生までの学習内容から出題されますから、しっかりと予習・復習をして授業に臨み、さらに定期試験・公務員模擬試験の勉強も大切にしてください。

公務員試験は8月下旬から9月に行われ、併願も可能です。さらに進学のための受験も併行して行うことも可能です。

(3) 最後に

高校生活で学ぶことは、学業面だけではなく、部活動・生徒会活動・ボランティア活動・国際交流活動等に積極的に参加して下さい。

就職を考えている人は、3年生になってあわてることのないよう、1、2年生の間に自分の適性或希望を考慮して、是非、就職研究をしておきましょう。



